

21 世紀の生命を育む

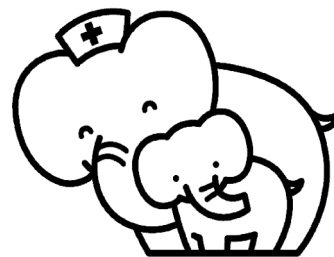
はしもと小児科

〒954-0112 見附市上新田町 449-7

TEL 0258-61-2400, 予約専用 61-2401, FAX 61-2402

<http://www.mynet.ne.jp/hasimoto/>

院長 橋本尚士:新潟大学医学博士,日本小児科学会認定小児科専門医,日本アレルギー学会認定アレルギー専門医



麻疹



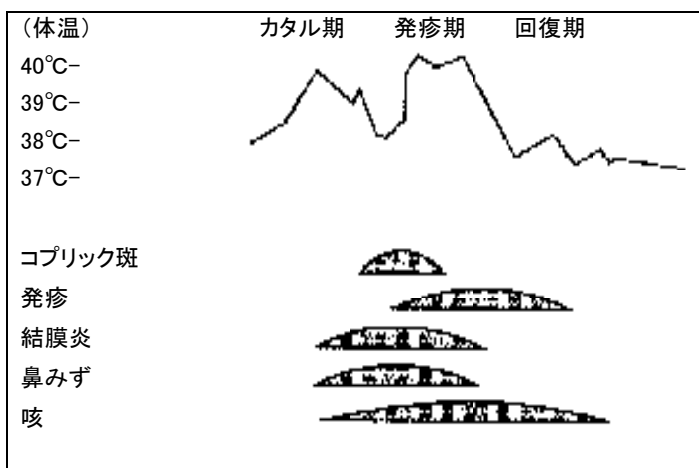
<麻疹(はしか)とは>

麻疹ウイルスによっておこる病気で、感染力が非常に強く、死亡率の高い病気です。

はじめの 2-3 日は、熱、咳、鼻みず、目やになどがありますが、風邪と区別がつかず、「麻疹」と診断できません。

いったん熱が下がり、再び高熱が出ると同時に、全身に発疹、口腔内にコプリック斑が出現します。

その後、さらに 4-5 日間高熱が続きます。最後に皮膚に色素沈着を残します。



<麻疹は「命定め」>

麻疹は昔から「命定め」と呼ばれている恐い病気です。現在の医療水準でも 1000 人に 1 人は死亡します。日本でも年間 50-100 人くらい死亡しています。

麻疹になると軽重こそあれ、まず肺炎になります。

麻疹の経過中に急性循環不全(血圧がストンとさがって、心臓がパタッと止まる)が起きて、あっという間に死亡することがあります(これを「内攻(ないこう)」と呼びます)。重症化するか否かは予見できません。ああ、恐ろしい！！

麻疹には直接治療する方法はありません。麻疹にかかってしまったらひたすら運を天にまかせて、自然に治るのを待つだけです。唯一の予防法は麻疹ワクチンを接種することです。



<家庭で気をつけること>

熱が続くときは、解熱剤やアイスノンを使ってください。「麻疹の時には熱を下げてはいけない」というのは迷信です。食欲がなくなるので水分を十分に補い、消化のよいものを与えましょう。発疹がうすくなり、咳も少なくなると熱がなければ、入浴してもよいでしょう。



<保育所・学校>

解熱後 3 日間経過すれば、行ってかまいません。



<他の子にうつしたかも知れない>

麻疹ワクチンの接種を受けていないお子さんが麻疹患者さんと接触した場合には、発症予防のために、麻疹ワクチンを緊急接種するか、2-3 日以内にガンマグロブリンの注射を受けなければなりません。このような場合には、当院にコンタクトして下さい。当院で直ぐに接種または注射をします。